

7月6日(火)

14	401会議室 (4F) 14:00-15:30 理事会	
15		
	B会場 (2F福寿) 15:30-16:30 評議員会	
16		
	A会場 (2F瑞雲) 16:35-17:35 技術セミナー1 PGx検査を取り巻く環境とDMET™ Plusアレイ [モデレーター・演者] 登 勉 (三重大学) [演 者] 米山 政男 (アフィメトリクス・ジャパン株式会社) [提 供] シスメックス株式会社	A会場 (2F平安) 16:35-17:35 技術セミナー2 CORYNEX® Corynebacterium glutamicumにおける新規タンパク質分泌生産系 [演 者] 菊池 慶実 (味の素株式会社) [提 供] 味の素株式会社
17		
	大ホール (5F) 17:40-18:20 基調講演 がんゲノム研究からがん分子標的治療薬へ [モデレーター] 長田 裕之 (理化学研究所) [演 者] 中村 祐輔 (東京大学)	
18		
	B会場 (2F福寿+桃源) 18:30-20:00 ミキサー	
19		
20		
21		
22		

7月7日(水)

	大ホール (5F)	A会場 (2F 瑞雲+平安)	B会場 (2F 福寿+桃源)
9		9:00-9:50 Year in Review 1,2 細胞の守護者オートファジー： その分子機構と生理機能 [モデレーター] 宮園 浩平 (東京大学) [演 者] 吉森 保 (大阪大学) がんの分子イメージング [モデレーター] 平岡 真寛 (京都大学) [演 者] 今村 健志 (癌研究会)	9:00-9:50 Year in Review 3,4 癌化学療法と薬物トランスポーター [モデレーター] 藤田 直也 (癌研究会) [演 者] 杉山 雄一 (東京大学) がんにおけるエピジェネティックな異常 ～発がんにおける役割と分子標的への応用～ [モデレーター] 新津 洋司郎 (札幌医科大学) [演 者] 豊田 実 (札幌医科大学)
10		10:00-10:50 ワークショップ1 ケミカルバイオロジー [I] [モデレーター] 井本 正哉 (慶應義塾大学) 水上 民夫 (長浜バイオ大学)	10:00-10:50 ワークショップ4 細胞周期・転写因子 [モデレーター] 秋山 伸一 (徳島大学) 河野 公俊 (産業医科大学)
11		10:50-11:30 ワークショップ2 ケミカルバイオロジー [II] [モデレーター] 梅澤 一夫 (慶應義塾大学) 杉本 芳一 (慶應義塾大学)	10:50-11:30 ワークショップ5 ホルモン・ホルモンレセプター [モデレーター] 瀬戸 加大 (愛知がんセンター) 青木 裕子 (中外製薬株式会社)
12		11:30-12:10 ワークショップ3 転移・浸潤 [モデレーター] 入村 達郎 (東京大学) 済木 育夫 (富山大学)	11:30-12:10 ワークショップ6 増殖因子・サイトカイン [モデレーター] 桑野 信彦 (九州大学) 前川 平 (京都大学)
13	13:30-14:00 総会・研究奨励賞授与	12:20-13:20 ランチョンセミナー 1 Developing novel glycoengineered antibodies with optimized effector functions [司会] 畠 清彦 (癌研究会) [演者] Christian Klein (Roche/GlycArt) [共催] 中外製薬株式会社	12:20-13:20 ランチョンセミナー 2 CCR4を標的とする免疫療法 ー日本発世界初のがん抗体療法を目指してー [司会] 山口 俊晴 (癌研究会) [演者] 石田 高司 (名古屋市立大学) [共催] 協和発酵キリン株式会社
14	14:10-16:20 シンポジウム1 創薬を目指したケミカルバイオロジー [モデレーター] 吉田 稔 (理化学研究所) 秋永 士朗 (協和発酵キリン株式会社)		
15	S1-1 醗酵天然物を用いた医療と科学の ブレークスルー ～HDAC阻害剤FK228の教訓～ 中島 秀典 (アステラス製薬株式会社) S1-2 エピジェネティクス制御機構を標的 とした新規がん治療戦略 近藤 豊 (愛知がんセンター) S1-3 新規HSP90阻害剤KW-2478の創製研究 塩津 行正 (協和発酵キリン株式会社)		
16	S1-4 がん悪性化を標的とした 制がん剤シードの探索 井本 正哉 (慶應義塾大学) S1-5 スフィンゴシン-1-リン酸受容体 アンタゴニストの抗血管新生作用 米須 清明 (第一三共株式会社)		
17	16:40-19:10 ポスターブリーフィング		
18	[モデレーター] 旦 慎吾 (癌研究会) 清水 史郎 (慶應義塾大学)		
19			

P1 ケミカルバイオロジー[I] (探索・合成)
P2 ケミカルバイオロジー[II] (オミックス・イメージング)
P3 ケミカルバイオロジー[III] (標的特定・作用解析)
P4 アポトーシス
P5 転移・浸潤
P6 細胞周期・転写因子
P7 増殖因子・サイトカイン・ホルモン
P8 がん遺伝子産物・腫瘍治療・バイオマーカー
P9 血管新生
P10 低酸素・エネルギー代謝
P11 DNA複製と修復・テロメア・耐性因子・感受性因子
P12 耐性因子・感受性因子

7月8日(木)

	大ホール (5F)	A会場 (2F 瑞雲+平安)	B会場 (2F 福寿+桃源)
9		9:00-9:50 Year in Review 5,6 低分子分子標的薬の現状と展望 - PI3キナーゼ阻害剤を中心に [モデレーター] 上原 至雅 (岩手医科大学) [演 者] 矢守 隆夫 (癌研究会) メタボロミクスを用いたがん微小環境の 理解とこれに立脚した治療法の開発 [モデレーター] 畠 清彦 (癌研究会) [演 者] 江角 浩安 (国立がんセンター)	9:00-9:50 Year in Review 7,8 Cancer Stem Cellと標的分子 [モデレーター] 西條 長宏 (近畿大学) [演 者] 近藤 亨 (愛媛大学) マイクロRNAと発がん [モデレーター] 上田 龍三 (名古屋市立大学) [演 者] 間野 博行 (東京大学)
10		10:00-10:40 ワークショップ7 がん遺伝子産物 [モデレーター] 清木 元治 (東京大学) 珠玖 洋 (三重大学)	10:00-10:40 ワークショップ10 腫瘍治療・遺伝子治療・バイオマーカー [モデレーター] 山口 俊晴 (癌研究会) 石岡 千加史 (東北大学)
		10:40-11:20 ワークショップ8 DNA複製と修復・テロメア [モデレーター] 前原 喜彦 (九州大学) 田原 栄俊 (広島大学)	10:40-11:20 ワークショップ11 耐性因子・感受性因子 [モデレーター] 福岡 正博 (和泉市立病院) 植田 和光 (京都大学)
11		11:20-12:00 ワークショップ9 アポトーシス・オートファジー [モデレーター] 内藤 幹彦 (国立医薬品食品衛生研究所) 酒井 敏行 (京都府立医科大学)	11:20-12:00 ワークショップ12 血管新生・低酸素・エネルギー代謝 [モデレーター] 田村 友秀 (国立がんセンター) 富田 章弘 (癌研究会)
12		12:10-13:10 ランチョンセミナー 3 癌遺伝子研究 “今昔” [司会] 木村 晋也 (佐賀大学) [演者] 山本 雅 (東京大学) [共催] 大鵬薬品工業株式会社	12:10-13:10 ランチョンセミナー 4 キナーゼ阻害薬Update [司会] 田村 友秀 (国立がんセンター) [演者] 西岡 安彦 (徳島大学) [共催] エーザイ株式会社
13	展示ホール (1F) 13:20-14:20 ポスタービューイング 最初の30分はポスターの説明を行って下さい。		
14		13:50-14:20 技術紹介 [モデレーター] 宮園浩平 (東京大学) [演者] Karl-Herrmann Schlingensiepen (Antisense Pharma)	
15	14:30-16:40 シンポジウム2 がん分子標的薬の耐性化メカニズム:基礎と臨床 [モデレーター] 曽根 三郎 (徳島大学) 佐谷 秀行 (慶應義塾大学)		
	S2-1 血管新生阻害剤の耐性メカニズム 西尾 和人 (近畿大学)		
	S2-2 白血病幹細胞制御機構の解明と治療戦略 平尾 敦 (金沢大学)		
	S2-3 腎細胞癌のチロシンキナーゼ阻害剤に対する耐性獲得機構とその克服の可能性 三宅 秀明 (神戸大学)		
16	S2-4 乳癌におけるPI3K/Akt経路の活性化とホルモン治療抵抗性とその克服 徳永 えり子 (九州大学)		
	S2-5 肺がんのEGFR-TKI耐性の分子機構と克服に向けた試み 矢野 聖二 (金沢大学)		
	特別発言 岡本 勇 (近畿大学)		
	16:40-17:00 ポスター賞授与・閉会式		